

令和8年度道の駅整備事業 住民説明会

日 時：①5月14日（木）午後 6時00分から午後 7時00分
②5月16日（土）午前10時00分から午前11時00分
③5月20日（水）午後 6時00分から午後 7時30分

場 所：①竹間沢公民館ホール
②中央公民館ホール
③藤久保公民館ホール

参 加 者：① 9名
② 7名
③16名

説 明 者：三芳町役場道の駅整備準備室道の駅整備担当

次 第：町長挨拶、事業説明、質疑応答

説明内容：【資料をもとに説明】

- 1 はじめに（道の駅の検討経緯）
- 2 整備計画の検討
- 3～8 道の駅とは
- 9 コンセプト
- 10 導入機能（一覧）
- 11～13 配置計画・平面計画
- 14～17 導入機能（イメージ写真）
- 18 完成イメージ図
- 19 概算事業費
- 20 事業採算性
- 21 経済波及効果
- 22～24 社会的に期待される効果
- 25 事業企画
- 26・27 質問（三芳PAや周辺施設との違い・交通対策）
- 28 道の駅のアイデア募集
- 29 事業スケジュール

質疑応答：ご質問、ご意見などについて、下記のとおり回答いたしました。なお、一部の当日回答できなかったご質問については、回答を追記しております。

質問・意見	回答
<p>道の駅ができることへのワクワク感はあるものの、本当に町民がこの施設を望んでいたのか、計画ありきで進んでいるのではないかという懸念（優先順位の違い）がある。</p>	<p>住民の皆様には様々な受け止め方があることは認識しており、だからこそ今、こうした説明会を通じて直接ご意見を伺っております。</p>
<p>道の駅、食の駅が大好きです。まちが活性化するということ、お年寄りや若者にとっても大切なことと考えている。三芳町のまちの活性化の要素としては、町の中に関越自動車道（高速道路）が走っていることが強みと考えている。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
<p>他の道の駅と比較して後発となることのメリット・デメリットについてどのように考えているか。</p>	<p>メリットとしては、先行事例を踏まえ課題への対応が可能であり、各種データを活用できる点が挙げられます。デメリットとしては競合施設が多く、差別化が求められる点があります。なお、本道の駅は、東京近郊に位置することから立地面での優位性があると認識しています。</p>
<p>道の駅への入り方だが、関越自動車道からは直接入ることはできないのか。</p>	<p>関越自動車道を一旦降りてから道の駅に入ってくださいこととなります。</p>
<p>説明の中で「24時間営業を行う」とあったが、その理由を教えてください。</p>	<p>施設全体が24時間営業を行うわけではなく、飲食施設や物販・アンテナショップは営業時間を設けます。24時間開いているのは、「トイレ」「情報提供スペース」「駐車場」です。道の駅として登録・認定を受けるための必須要件として定められているため、このような運用を計画しております。</p>

<p>道の駅を 24 時間営業とした場合、暴走族のたまり場となる等、安全面への懸念があるが、対応策は検討しているか。</p>	<p>24 時間営業に伴う安全面の課題については、他の道の駅事例から認識しており、本道の駅においても今後、具体的な対策を検討します。また、民間事業者への要求水準書においても、必要な対策を講じる旨を明記しています。</p>
<p>レストランなどの集客施設はあるが、障がいのある方のためのカフェなどはあるか。</p>	<p>飲食施設をはじめとした各施設は、利用者に加え、従業員に対してもユニバーサルデザインとなるよう考えています。</p>
<p>これまで全国の様々な道の駅を見てきましたが、成功している施設は総じて「飲食（グルメ）」が非常に充実しており、それが利益や雇用の創出につながっている。例えば、関越自動車道「三芳 PA（上り）」は飲食が充実して大盛況ですが、対する「下り」は飲食が弱く、少し寂しい印象がある。今回の計画地はスマート IC の隣であり、上りのような強い飲食店を誘致できれば、下り PA の弱点を補う形になり、話題性も含めて成功するイメージが湧く。</p> <p>また、約 2 年前にふじみ野市から鮮魚専門店が撤退してしまったが、埼玉のような海のない地域だからこそ、あえて魚や海産物に特化した強力なテナント、あるいは地元の有名企業とコラボした店舗などが入ると、非常に大きな魅力になると思う。その点の考えは。</p>	<p>貴重なご提案と分析をありがとうございます。おっしゃる通り、施設を盛り上げるためには「食」の要素が極めて重要であると考えております。現在公開している要求水準書において、町内にある有名な企業や飲食店とのコラボ商品開発や、魅力的な飲食ブースの提案を事業者を求める予定です。</p> <p>また、海産物についても、関越自動車道の繋がりを活かし、新鮮な魚や特産品を仕入れて提供できないか、事業者に提案を求めています。</p>
<p>町内の交通網について、藤久保など駅から比較的近い地域からでも、現地への交通手段が現状ない。町民も利用しやすくなるよう、町全体の公共交通網と合わせたアクセス改善策（バス路線など）をどのように想定しているか。</p>	<p>交通網は課題として認識しております。ライフバスなど公共交通のルート変更や循環バスの導入、あるいは道の駅への乗り入れについて、町内外のバス事業者と調整、検討を行う予定です。</p>

<p>防災面の機能もあり、道の駅に居た人が帰宅困難者となった場合の説明を受けたが、周辺の地域住民の避難スペースとはならないのか。</p>	<p>近隣住民に避難先は、現在の指定避難所ですが道の駅は、断水が起こった際の水の配給場所となる可能性はあります。</p>
<p>道の駅に防災機能を取り入れるとのことだが、細かな内容を教えていただきたい。</p>	<p>建物を耐震仕様にします。停電時でも最大3日間程度は自立して稼働できるよう、非常用電源などの対策を講じる計画です。断水対策としては、受水槽の設置やマンホールトイレの整備などを想定しています。また、防災倉庫を整備します。道の駅に訪れた人は一時避難者となるので、その避難所となります。また、能登半島地震の際には道の駅は救援部隊の集まる場所として機能しており、広域的な連携も考えています。</p>
<p>災害時には電力（エネルギー）の確保が極めて重要になると考える。現段階で、自家発電装置や自然エネルギー設備などの設置は検討されていないのか。</p>	<p>現在、民間事業者の公募に向けて要求水準書を公開しており、省エネや自然エネルギーの活用といった環境配慮に関する評価項目を盛り込んでおります。民間事業者から優れた提案を受ける予定です。</p>
<p>井戸から水を汲み上げるポンプの動力も含め、いざという時だけでなく、日常から自然エネルギーを活用するシステムを導入すべきではないか。今後の提案やアイデアの受け入れ体制についても伺いたい。</p>	<p>民間事業者の公募に向けて公表している要求水準書の中に、省エネや自然エネルギーの活用といった環境配慮に関する評価項目を盛り込んでいます。民間事業者から優れたシステムやアイデア提案を受ける予定です。</p>
<p>財源として地域未来交付金を想定されているが、これはもう約10億円程度と確定しているのか。</p>	<p>地域未来交付金の制度要項を基に、補助対象になる部分の金額を基に交付金の金額は算出しております。よって、交付金の対象額は制度に基づいて算出した額となります。その後、国に申請額を行う予定としております。申請額が満額内示となるかは未定ですが、交</p>

	付されなかった場合の試算も行っており、町の財政負担に問題がないことを確認しております。
自治体では内閣府の交付金だけでなく、建物の整備にあたって国土交通省などの別の助成金（補助金）を複数組み合わせることで財源を確保し、自治体の自己負担（町費）を抑えていた。今回の計画は「防災拠点」としての機能（防災倉庫や避難スペース）も兼ね備えているため、防災関連の助成金など、複数の省庁から補助金を広く集めるリスク分散・財源確保の選択肢は検討されているのか。	<p>複数の補助金の組み合わせについてですが、「ある対象に対して国からの補助金は原則1種類しか使えない」という規定がございます。</p> <p>国土交通省より、道の駅向け補助金をまとめた資料が示されており、現時点で最大限、町の予算を縮減可能な補助金が「地域未来交付金」であると考えております。</p>
建設工事費（24億～27億円）とは別に「用地取得費（土地の買収代）」が必要になりますが、前回の説明会では「鑑定評価等の都合上、金額は明かせない」とのことでした。この用地費はいつ頃明らかになるのでしょうか。	令和9年度から設計を行い、設計により正確な用地の範囲を特定し、その後測量や不動産鑑定評価を経て、初めて具体的な金額が算出されます。令和10年度頃に金額が明らかになる想定です。
町債（地方債＝借金）の残高見込みが令和6年度の105億円から令和8年度には131億円へ増えるという資料もある。国の補助金があるとはいえ、基本は地方債（借金）と一般財源で賄う計画であれば、町の財政は本当に大丈夫なのか非常に不安である。最悪の場合、金額が見合わなければ計画を中止することもあるのか。	町の財政負担については、公共施設マネジメント計画に位置づけられている施設整備・更新費用等も勘案した、国の財政健全化の各指標におけるシミュレーションを行っております。その結果、財政の健全化を定める国の基準（実質公債比率等）を下回ることを確認しております。
年間53万人という観光客（来場者）の増加を見込んでいるようだが、現在の三芳町にそれほど人を惹きつける観光資源があるのか。	近年、道の駅はメディアでも頻りに特集されており、道の駅自体が目的地となるケースが増えています。道の駅を巡ること自体を目的とする来訪者が53万人の中に含まれると想定しています。

<p>想定年間売上が 3.8 億円は少ないと感じる。</p>	<p>売上は参考となる事例が少ないことから、想定年間利用者数（53 万人）と客単価を設定し、試算しています。</p> <p>想定年間利用者数は、県内の道の駅を参考に設定しているため、妥当性を有するものと考えますが、増減が生じる可能性がございます。</p>
<p>説明会資料ではメリットが中心に示されているが、デメリットについても検討しているか。</p>	<p>デメリットとしては売上が想定どおりに伸びない可能性がある点が挙げられます。</p>
<p>事業計画における損益分岐点や、収益化に必要な売上水準、また収益の町への還元についてどのように考えているか。</p>	<p>事業採算性は、損益分岐点を含め検討しており、整備計画に記載しています。必要となる最低売上は 2 億 9,400 万円/年、最低来場者数は 41 万 4 千人/年と想定しています。また、客単価については、現在 1,060 円を想定しており、最低限必要な客単価は、約 829 円程度と想定しています。</p>
<p>建設工事による莫大な経済効果のうち、地元（三芳町内）の建設関係業者には具体的にどれほどの効果があるのか。</p>	<p>今回試算している経済波及効果は、国や県が公表している「産業連関表」という一般的な統計手法を用いて機械的に算出したものです。この手法の性質上、算出される数値は「埼玉県全体」での効果となっており、誠に恐れ入りますが、現時点で三芳町単体への効果を試算できるものではありません。</p>
<p>開業後に波及効果があるとのことですが、その裏付けは何でしょうか。近隣の首都圏にも道の駅がある中、わざわざここに人が来るだけの魅力（例えば、有機野菜など他では買えない特産品など）をどう考えていますか。</p>	<p>計画地周辺の道路交通量や、整備予定の駐車場台数をベースに、同規模の交通量・駐車場を持つ他地域の道の駅のデータ（キャパシティと稼働率の関係性）を基に算出いたしました。そのため、実現性の高い数値であると</p>

	<p>考えております。まだ三芳を知らない層に向けて、道の駅で魅力をPRし、ブランド価値を高めることで町の活性化に繋がりたいと考えています。</p>
<p>三芳町の農家の方々についてです。三芳の野菜や川越いも、お茶は非常に美味しいですが、地元の農家さんたちがこの道の駅の計画に対して、十分に納得し、協力・賛同してくれているのか心配です。</p>	<p>地元の若手農家の方々とは、広報みよし5月号でも意見を伺い、「食の充実が大事だ」というご意見を多くいただきました。具体的には、三芳の新鮮な野菜をふんだんに使った美味しいビュッフェレストランの設置や、地元野菜を安定して広く販売できる直売スペースの確保など、前向きなご提案をいただいております。今後も計画の段階ごとに、丁寧な情報提供と説明会を重ねて進めてまいります。</p>
<p>野菜の魅力や農業振興の見通しについて、もっと詳しく知りたい。三芳の野菜は有名だが、1年中三芳の野菜だけで直売所（物販）を回せるのか。もし他所の野菜を仕入れて売るだけなら、わざわざここに来て買う魅力がなくなってしまい不十分だと思う。地域を守り、ここに来なければ買えないようなものを裏付ける「農業振興の街づくり」としての具体的な方向性はあるのか。また、細々とやっているお蕎麦や、菜の花から油を作るといった、一度寂れてしまった地域資源を復活させるような取り組みも含めて考えてほしい。</p>	<p>三芳の野菜だけで1年中全ての品揃えを維持できるかということ、収穫の薄い時期などの課題もあります。三芳の野菜をメインに盛り上げつつ、他の地域の野菜も取り入れて運営を安定させていく形になるかと思えます。具体的なスペースや誰に出店していただくかは今後の検討事項ですので、計画が出来上がってきた段階で再び説明会の場を開き、皆様に意見を伺いたいと思います。</p> <p>農業振興の方向性としては、まずは道の駅を通して三芳の特産物のブランド力を上げることが目標です。まだ三芳の野菜を知らない層に向けて、道の駅でその良さをPRし、ブランド価値を高めることで町の活性化に繋がりたいと考えています。地域資源の活用についても、今後の参考にさせていただきます。</p>

<p>事業スケジュールについて、供用開始が令和12年とされているが、期間が長いように感じる。2年程度での実施も可能ではないかと考えるが、本スケジュールの妥当性についてどのように考えているか。</p>	<p>スケジュールについては、可能な限り早期の開業を目指しており、他事例を踏まえ令和12年の供用開始が妥当と考えています。事業者選定後に詳細なスケジュールを精査していく予定です。</p>
<p>三芳町には電車の駅がない。万博などで空飛ぶ車が話題となっている時代である。空飛ぶ車が当たり前になる。日本人だけではなく、インバウンドなどの観光客も考えて「空の道の駅」をつくってほしい。空を飛ばば富士山もよく見える。</p>	<p>空の道の駅の提案ありがとうございます。空飛ぶ車の実現はもう少し先かと思いますが、時勢にあわせて検討してまいります。</p>
<p>空の駅になれば、防災という面では、けがをした人の救急搬送ができる場所となる。</p>	<p>参考とさせていただきます。</p>